

令和6年度庄原市食育研修会

令和6年8月28日(水) 庄原市総合体育館

学校や地域において、食の課題解決に向けた組織的、計画的な取組を行うため、本研修を通して、食に係る指導内容の充実を図るとともに、各校の教育活動に資することを目的に、研修会を行いました。

【講話・実践発表・交流】「本県の食育の現状と取組の推進について」

庄原市立永末小学校 養護教諭 手塚 優

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 片山 博子



◆本県の食育の現状や今年度の重点的な取組について講話・実践発表・交流を行った。

- ・ 令和6年度の本県の食育の取組は「ひろしま給食推進プロジェクト」「栄養教諭を中心とした食に関する指導の充実」である。
- ・ 令和5年度広島県食育推進功労者表彰を受けた庄原市立永末小学校の実践発表を行った。弁当の日の取組や食についての体験を計画的に実施され、学びを食育カレンダーとしてまとめる取組を紹介された。望ましい食習慣を主体的に身に付けようとする児童の育成に向けて、組織的な取組を行っている点が参考となった等の意見が挙げられた。

【講話・協議】「本市の食育の現状と取組の推進について」

庄原市役所 保健医療課 主事 小坂 真菜美

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 片山 博子



◆本市の食育の現状や今年度の重点的な取組について講話・協議を行った。

- ・ 保健医療課より、庄原市健康づくり推進計画について説明を行った。
- ・ 食に関する実態調査の結果から、朝食喫食について各校で実施している取組や工夫点について各調理場のグループで協議を行った。朝食について、工夫した取組を実施している学校の紹介を行った。

【参加者の振り返りより】

- 朝食が取れないことと、肥満傾向の増加、生活習慣の乱れは関連していると思われる。保健朝会等で児童に具体を示しながら、児童が自ら食や生活についてコントロールできるような取組を計画・実践していきたい。また、市の様々な調査結果を見て大変参考になった。今後、小学校でできる食育に生かしていきたい。
- 永末小学校の実践から、年間を通して、地域の協力も得ながら栽培、お弁当作りなどの活動を計画的・意図的に推進することを学び、自校でも取り入れていきたいと思った。
- 朝食の必要性を感じ、朝食を作ってみようと考えて行動できる自己管理能力を育てる必要があると思った。朝食について、家庭科担当と相談して委員会活動から発信していきたい。
- 他校の栄養教諭と連携した様々な実践を知ることができた。家庭状況も様々ある中で、児童本人が将来的に「自分自身で考えて行動できる力」を身に付けるという視点を大切に、児童への指導を重点的に行いたいと感じた。